

西宮渡辺心臓脳・血管センター

## 不整脈科

詳しい情報は  
こちらから



## カテーテル アブレーションに関して



西宮渡辺心臓脳・血管センター  
不整脈科・顧問 **全 栄和**

2022年6月から不整脈科の顧問として赴任しています全です。当年とって67歳となり、医師人生の大半でカテーテルアブレーションに関わって来ましたので、当時の話を振り返ってみたいと思います。

私が初めてカテーテルアブレーションを目の当たりにしたのは、研修医2年目の1983年のことでした。当時は恩師、家坂義人先生が率いるグループ(当時、東京医科歯科大学第二内科、土浦協同病院循環器内科)に所属し、研鑽を積んだ後、1988年に米国フロリダ州のマイアミ心臓研究所に留学しました。この留学中に高周波を使用した当時最先端の

手技を学習し、帰国しました。この経験が後の私のアブレーション人生を形作ったと言い切れます。

帰国後は、現在も主に使われている高周波を用いた合併症の少ない不整脈カテーテル治療を第一線で牽引してきました。そして現在、この治療法は不整脈の非薬物的・根治療法として皆さんにお勧めできる有効・安全な治療法へと成熟して来ました。

ただ、症例数の多い病院=腕の良い医師と言う悪しき風潮が蔓延し、患者様に対して配慮のない傲慢な医師が横行する由々しき事態も現実にはあります。私もその範疇に入らぬよう肝に銘じています。このような抹香臭い古株の私と脂の乗った花澤先生とで良い時代のカテーテルアブレーションを皆さんに提供して行きたいと努力します。

さあ、皆さん、判断するのは皆さんです。気をつけましょう!



西宮渡辺心臓脳・血管センター  
不整脈科・部長 **花澤 康司**

2022年9月より不整脈科部長として赴任しました花澤と申します。私はドイツに2年間留学し、ドイツ人にカテーテル治療を行いながら研鑽を積み、帰国後は和歌山にて8年間不整脈を中心に診療を行ってまいりました。2カ国で診療した経験を通じて感じたことは、確実に安全・安心な医療を患者様に届ける重要性です。幸い当院には、最新のカテーテル治療機器と治療を支える熟練した技師や看護師達が揃って

います。人と道具が揃ってはじめて、一人一人の患者様に安全な治療が可能になると思います。また、不整脈は自分の意図しないタイミングで心臓が勝手に動くため、深刻な死の恐怖を抱いて受診される患者様も多くいらっしゃいます。そういった患者様に現在の状況や今後必要となる治療を丁寧に解説し、安心して生活していただけるように心がけています。

一人の患者様を安全・安心に治療するには一人の医師だけの力ではできません。地域の先生方や全先生、優秀なスタッフとともに一人でも多くの患者様に「先生と話をしたら安心したわ」と言ってもらえる医療が提供できるように日々精進していきたいと思っています。

## 新年のご挨拶



### 理事長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会/理事長  
**佐々木 恭子**

あけましておめでとうございます。

ウクライナの戦争、コロナ禍、物価の上昇に加え、光熱費の高騰、昨年問題は、全て持ち越した今年のお正月です。今年こそはと願う新年、皆様は如何お過ごしでしょうか? 気持ちを新たに明るい未来を願いつつ…今年も宜しくお願い致します。

旧年中のご協力とご支援に感謝致しますと共に、未だ解除出来ず続いている面会制限や入り口での検温等、ご迷惑をお掛け致しますが引き続きのご協力をお願い致します。

昨年より続く西宮渡辺病院の増改築工事も今年中には完成を予定しております。完成後には眼科や口腔外科(歯

科)、リウマチ科、泌尿器科、婦人科など幅広く皆様の健康管理に貢献できる病院へと進化する予定です。

池田町にある「西宮渡辺心臓脳・血管センター」も救命に至る高度急性期医療の充実と共に退院後も継続可能な心臓リハビリの拠点作りで健康寿命の促進に貢献したいと願っております。皆様の利便性を検討し、新たな拠点となるクリニック開設(甲子園からの移動)を予定しています。

入院中の病院のお食事は美味しくなりましたでしょうか? ベッドの寝心地や病衣の着心地は如何でしょうか?

病院は、みなさまの為にある事を再認識しての年初めです。

地域医療の担い手である私共は、これからも皆様のお役に立てる私どもでありたいと願っております。ご支援、ご協力、宜しくお願い致します。

皆様のご健康とご健勝をお祈りしつつ、素敵な一年でありますように。



### 院長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会/副理事長  
兼 西宮渡辺病院/院長  
**佐々木 健陽**

あけましておめでとうございます。

コロナの終わりは、まだまだのようですが、今年は、「地域の皆様へ、地元で最新の医療を提供する」をスローガンに、地域の皆様に最新最高の医療を提供します。

新年1月14日(土)より滋賀医科大学 整形外科講座 今井晋二教授の肩関節専門外来を始めます。

今井教授は、難治性肩関節痛からスポーツ肩障害、肩関節鏡による腱板断裂手術、人工肩関節置換術まで多岐にわたり、日本を代表する肩関節専門医師です。肩でお困りの地域の皆さん、どうぞ診察をお受けください。

本年もよろしくお願いいたします。



### 管理者 ご挨拶

西宮渡辺心臓脳・血管センター/  
管理者  
**増山 理**

新年、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

わたしは昨年の4月に西宮渡辺心臓脳・血管センターに参りました。前任の病院は公的病院でしたので、昨年の3月までは先頭に立って新型コロナウイルス感染への対応に終始しておりました。センターではポストコロナ時代への切り替えに腐心しないといけないのではないかと予想しておりましたが、結果的にはウイズコロナの中でいかに通常診療を行うかという状況だったように思います。

センターは循環器内科(不整脈科を含む)・心臓血管外科・脳神経外科が中心の病院ですが、今年はいずれの診療科もさらにスタッフを充実させることができそうです。関連するセンター内各部門のメディカルスタッフと協力してますます発展していきたいと思っておりますので、皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。今年が皆さまにとっても幸多い一年であることをお祈りいたします。

## 法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 居宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション
- 社会福祉法人 高明会 / シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかせ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。



【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】http://www.n-watanabe-hosp.jp/

# 新年のご挨拶



西宮渡辺心臓脳・血管センター 副理事長 渡邊 慶明

あけましておめでとうございます。昨年の年始の挨拶では「コロナ後のことを考えていかねばならない一年になる」と書きましたが、昨年もやはりコロナに振り回される一年になってしまいました。世間では脱コロナに向けてまっしぐらですが、やはり当法人はこれかも地域の医療を守る最前線としてこの先もコロナと向き合っていかなければならないのでしょうか。

「辺塞に寧日なし」といいますが、このコロナ禍において、昨年はセンター、本院ともに救急の受け入れが2,000件を超えました。もちろん、当院の職員一同頑張りました。しかしながら、地域の方々や近隣の先生方の理解、支援なくしてはこの数の救急を受け入れることは出来ませんでした。我々は、本年も地域の医療を守る最前線として、地域のお役に立てるには何が必要なのか、どのようなことをしていかなければならないのか模索していきます。どうか皆様におかれても、引き続き暖かいご支援とご協力をお願い致します。皆様のご健康とご健勝をお祈りしつつ、素敵な一年でありますように。



西宮渡辺病院 副理事長 佐々木 俊治

新年あけましておめでとうございます。私自身は昨年4月に当院に常勤としてスタートを切りましたが、あっという間の1年でした。振り返ってみると、やはり昨年は入院中の方々にもコロナに振り回された1年でした。コロナ診療と日常診療の両立を目標に、職員の皆さんの協力の元、努力をしたつもりです。少しでも日常を取り戻すために感染症医として熟考の上で地域に先駆けて、条件付きではありますが面会を再開させていただきました。

地域に必要とされる温かい医療と質の高い最良の医療の両立を目指して、今年も地域の皆様のお役に立てるよう精進いたしますので温かいご支援をいただければ幸いです。私自身も地域における数少ない感染症専門医として微力ではありますが最善を尽くしてまいります。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



西宮渡辺病院 副院長 岡田 憲幸

新年おめでとうございます。コロナ禍も3年となり、生命の危険は減ったとはいえまだまだ大変な中、いかがお過ごしでしょうか。外科は昨年後半から激動の年でした。若手先頭で頑張っておられた荒川先生が身内の病院に勤務となり9月に退職、今年春には孫先生のご開業、外科医が2人いなくなるという危機を迎えました。地域のために外科手術を決して衰退させてはいけません。4月からは若くて優秀な外科医が2人揃う予定です。これまで以上に外科を進化させていければと思っていますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



西宮渡辺病院 副院長 正田 悦朗

昨年は、大阪公立大学からのレジデントの先生とともに高齢者の骨粗鬆症をベースとした股関節周囲骨折、肩関節周囲骨折、手首の骨折などとともに比較的若い方の足関節周囲骨折、鎖骨骨折などの治療を、手術を中心に行ってきました。定型的な骨折ばかりでなく、かなり複雑な骨折の治療も行うことができるようになってきています。骨折は適切なタイミングで適切な治療を行うことで、回復後の機能に差が出てきます。新年に当たりまして、引き続き適切な治療をお届けしたいと考えています。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 院長 吉田 和則

新年あけましておめでとうございます。病院執行部はじめHeart Teamスタッフの献身的なサポートのおかげで、無事1年を送る事ができました。大動脈センター長 中尾佳永先生、血管外科主任 畑田充俊先生の協力で、充実した診療ができ、阪神南地区の中核病院としての自覚を持ち続け、また、ニーズの変化に伴う低侵襲治療手術(ステントグラフト治療、MICS-AVR、MVP、TAVRやImpellaなどの新規デバイス)にも、懸命に取り組んでいきたいと思ひます。今年も、ご迷惑をおかけする事も多々あるかとは思いますが、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお祈り致します。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 副院長 藤田 博

新年あけましておめでとうございます。昨年より循環器内科はメンバーが大幅に変わりましたが、経皮的冠動脈形成術(PCI)の件数も約545例と過去最高、兵庫県下においても有数の施設となっています。その内救急医療での急性心筋梗塞は約100例あり、24時間体制の循環器専門医による迅速な対応を継続すると共に、さらにもますます患者様に信頼され、選んでもらえる施設となれるよう、カテ室一同精進したいと思いますので、暖かい御支援と御協力をよろしく御祈りいたします。また経カテーテルの大動脈弁植え込み術(TAVI)に関わるチームも新体制となり、積極的に本治療を行っており、約30例とこちらも過去最高となっています。地域の先生方にも信頼して頂ける医療を提供できるよう、病診連携強化並びに学会活動推進に努めていきたいことを今年の抱負として、新年のご挨拶とさせていただきます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 副院長 大森 一美

新年あけましておめでとうございます。当センターに脳神経外科を設立し、8年目を迎えます。脳卒中の手術を中心に行っていますが、頸動脈内膜剥離術が昨年49件となり、関西圏トップの手術件数となりました。これは、地域の医療機関や法人各施設、各診療科との“連携”で達成することが出来ました。今年も引き続き、地域の医療に貢献すべく、各方面との“連携”を大事にし、最善の医療を尽くして参りたいと思ひますので、宜しくお祈り申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 副院長 / 心臓血管外科 中尾 佳永

新年あけましておめでとうございます。2018年9月より当センターに赴任して、4年が経過しました。センターの諸先生方、看護師、スタッフの皆様方のサポートを頂き、なんとか勤務させて頂いております。主にステントグラフト治療を担当させて頂いており、できる限り体への負担がかからない治療を行い、患者様には早期に社会復帰して頂ける様に日々努力していきたいと思ひます。また昨年4月より副院長となり、病院および職員の皆様のお役に立てるよう、日々精進していきたいと思ひます。本年もどうぞ宜しくお祈りいたします。

# 新年のご挨拶



西宮渡辺心臓脳・血管センター 副院長 合田 亜希子

新年あけましておめでとうございます。昨年は循環器内科と不整脈科が新しい体制となりました。4月～12月までの9か月で約30例の経皮的動脈弁留置術(TAVI)が施行され、補助循環システム、インペラ使用例も増えており、当院が循環器の急性期医療、先進的医療を担っていることを実感いたします。不整脈科との連携も強くなり、心臓リハビリテーション、栄養面でのサポートなど急性期から慢性期治療への連携も整っています。今年はさらにチームワークよく、患者様中心の診療を行っていければと思っています。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 院長 槌田 昌平

新年あけましておめでとうございます。昨年は、前年から回復期リハビリ病床数が増えたこともあり、西宮渡辺病院や西宮渡辺心臓脳・血管センターとも連携を密にとりながら、効率的な病床運用に努めてきました。また、心臓リハビリ外来も業務を分担しながら頑張っており、コロナ禍は3年経っても未だ終息せず、感染者数増加の波に翻弄されながらもPCR検査外来を鋭意実施してきました。今年こそ、ウイズコロナへシフトして日常の診療が落ち着いてできるようになることを切に願っております。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック 院長 山室 淳

新年あけましておめでとうございます。2021年11月1日 神戸市東灘区に、西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニックを開院いたしました。さらに充実した医療サービスを提供できるように努めていきたいです。

さて近年、健康寿命延伸を図る目的から「脳卒中・循環器病対策基本法」が施行されています。西宮渡辺心臓脳・血管センターが循環器中核の専門病院で、東灘クリニックは近隣患者さんの心臓リハビリテーション・心疾患のリスク管理に取り組みたいと考えます。この法制化を機にさらなるステップアップを目指して、法人内の各医療施設、介護施設・部門とも連携を強く地域医療に努めていきたいと思ひます。今年もよろしくお祈りいたします。

## 肩関節専門外来 開始のご案内!



開始日 1月14日(土)  
曜日・時間 毎月 第2・4土曜日 9時～12時  
ご予約ご紹介 ☎0798-74-2630

滋賀医科大学 整形外科 今井 晋二 教授の肩関節専門外来を西宮渡辺病院にて開始します。当院でも手術対応可能です。

## 部署紹介 西宮渡辺病院 リハビリテーション科



西宮渡辺病院リハビリテーション科では、入院後、筋力低下予防のため早い時期からリハビリを開始します。そしてご自宅の家屋状況を伺い、生活に必要な動作練習や手すり設置などの環境調整を含めたリハビリを行っていきます。退院後には外来リハビリや介護保険を利用した通所リハビリの他に、ご自宅に伺う訪問リハビリでの運動など患者様の身体の状態に合わせて幅広く対応しています。

また当院では認知症対策に力を入れています。認知症ケア専門士を2名配置し、認知機能評価やチームカンファレンスの実施など、患者様一人一人に合わせた対応をしています。レクリエーションの実施や入院生活中の環境調整は、看護部とも一緒に検討しながら共同で対策を進めています。今後も地域の方々に安心して日常生活を送っていただけるリハビリテーションを提供できるよう努めていきますので、よろしくお祈りいたします。

## 第37回 全国医療法人経営セミナーが開催されました

令和4年11月19日、当法人 佐々木恭子理事長が実行委員長のもと、神戸市にて「第37回全国医療法人経営セミナー」を開催しました。

200名近い方に熱心にご参加頂き、「コロナ共存時代をむかえて～地域社会に学ぶ働き方とこれからの医療～」というテーマのもと、病院経営に関する活発な討議及び意見交換が行われました。

